

令和8年2月市議会定例会が2月17日に開会され、行政報告を行いました。
このページでは、その要旨を紹介いたします。なお全文は市ホームページで紹介しています。

市長から

3月14日からJR赤穂線の増便が決定しました。昨年6月に市長に就任して以来、「人が集い、手取りが増えるまちづくり」の実現に向けた重要なテーマの一つとして、「公共交通の充実」を掲げ、市営バスの拡充検討に取り組み、虫明・長島愛生園線の増便や、牛窓・邑久駅線の延伸、西脇・邑久駅線のバス増設などの計画検討に取り組んできました。

市営バスの利便性向上が鉄道利用の促進にもつながることに加え、長船駅前駐車場の拡大や備前長船刀剣博物館での国宝「山鳥毛」公開に合わせた長船駅からのシャトルバス運行開始など、鉄道利用を促進する取り組みを積極的に進めてきました。

と粘り強く交渉を重ねた結果、今回のJR赤穂線の増便を実現することができました。更なる増便を獲得するため

に、令和8年度予算案にも公共交通の一層の充実、需要増加に向けた取り組みを盛り込んでいきます。

具体的には、計画してきた市営バスの増便・延伸などに加え、観光定期バスの運行開始や、市営バスにおけるICOCAの導入、観光プロモーションの強化などを迅速に進めていく計画としています。

令和8年度予算では、定住の推進、移住・観光の誘致、手取りアップに向けた施策を組み合わせました。

定住を推進するための核として、公共交通の整備、移住の誘致に向けては現在移住者の柱となっている就労世代・子育て世代を想定し、企業誘致を推進するための調査費

用、子どもの遊び場整備に向けた費用、小中学校の給食費無償化や保育料の無償化、学校外教育バウチャー導入に向けた予算、観光誘致に向けて

観光定期バスの新設や道の駅黒井山グリーンパークへの軽食施設の整備、美術館・博物館での特別展プロモーション強化などを計画しています。

また、企業誘致以外の手取りアップに向けた取り組みとして、ふるさと納税の寄附額増加のための取り組みや広報プロモーションによる情報発信の強化に向けた費用を計上しています。また、市役所職員の手取りも引き上げること

を想定し、副業の解禁も計画しています。これらの施策を通じ、全ての市民が「住みたい」「住みたい」と感じられ、手取りが増えるまちづくりをしっかりと形にしていきたいと考えています。

主な取り組み

出産・子育て応援給付事業の新設

出産時の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるため、妊娠期と出産期に5万円ずつ給付される妊婦のための支援給付金とは別に、新生児一人につき10万円の出産祝金を支給します。

第2子の保育料無償化の新設

子育て世帯への更なる経済的な支援を図るため、第2子の保育料を無償化します(0歳から2歳児までの住民税課税世帯で、第1子の児童のみ保育料は自己負担)。今回の制度新設により、認可施設に通う第2子の保育料が無償となります。

認定こども園施設整備の助成

旧長船町公民館跡地に誘致した民間認定こども園(令和9年4月開園予定)の設置・運営者が、現在、施設整備の準備を進めています。今年度につき、来年度も事業者に対して補助金を交付します。

マルシェの開催やキッチンカーなどへ市有地を民間開放

市職員の福利厚生の一環として始めた市役所本庁舎でのキッチンカーによる昼食販売

せとうちダイバーシティ宣言制度

市では令和8年2月から「せとうちダイバーシティ宣言制度」を開始しています。

この制度は、「瀬戸内市ダイバーシティ社会を推進する条例」に定める7つの基本理念に基づき、企業、事業所および団体に、ダイバーシティ社会の実現に向けた具体的な取り組みを宣言してもらう制度です。

本制度の導入により、市全

犬島までの航路検証の開始

牛窓地域の新たな観光コンテンツとして、瀬戸内市観光協会が、渡船事業者および(公財)福武財団と連携し、犬島のアート鑑賞とクルージングを組み合わせた観光商品の検討を進めています。今年秋には実証実験を実施し、需要の把握を行うとともに、将来的な定期観光商品の実現につながるよう、市も支援します。

教育委員会から

瀬戸内キズナ・ホリデー

児童生徒が家族とのふれあいのための体験を通して、主体的な学びの楽しさを実感する機会をつくるため、令和8年度から市内の小・中学校を

対象に「瀬戸内キズナ・ホリデー」制度を創設します。

「瀬戸内キズナ・ホリデー」は、子どもが学校を休み、保護者などと一緒に、家庭や地域などで自然体験や文化・社会体験、職業体験など、学びにつながる活動を自ら考え、企画し、実行することができ

る日のことをいいます。本制度は、保護者からの申請を校長が内容や時期を確認し承認します。当該日は学校に登校しなくても欠席扱いとはならず、年度内で最大3日まで利用できることとしています。

学校施設整備

国の空調設備整備臨時特例交付金を活用し、災害時の避難所に指定されている学校施設の体育館について、これまで要望の多かった空調設備の整備を進めていきます。

令和8年度中には、牛窓中学校、邑久中学校、長船中学校の体育館に空調設備を整備する計画としています。

